



# 投票日 4月19日

私は、「おかしいことにおかしいと言おう、問題を問題にしよう」と町政に送り出していたりから訴えていました。

それは現在でも終始一貫して変わらず、そして今後もそうしていくつもりです。

この4年間、ルールの範囲のなかで、かなり乱暴なこともしてきました。滅多に出ることない当初予算の委員会での否決、補正予算に対しての修正案の可決、付帯決議の可決など、これを美しくないと思われる方もいると思います。

しかし私達の役目とは、皆さまから頂いた血税を使い運営されている「行政の執行をチェックする」です。それに対して「おかしい！」と思えば皆さんの代弁者として「おかしい！」と言おうに美しいとか汚いとか言ってもらえません。

皆さんは「こんなところにこんなお金使えうなら…」と思ったことはありませんか？  
それって使いみちがあらかじめ決められている「財源」で、その事業に対してでしか使えないお金でなんです。

浮かしたと違って別にお金ではなく、仮に浮かしたとすれば戻さなきゃいけないんです。  
それを考えなくてもいいのは「自主財源」と言うもので、津和野町は決算全体の15%程度、つまり好きに使えば15%ってことです。

私は多少事業費が減ったとしても、自主財源を伸ばし住民生活に即したお金の使いかたをするべきであり、また自主財源を伸ばすということは、町内事業の活性化なくしては考えられませんが、

簡単ではないことですが、それを目指せば町が明るくなると思います。

補助金・助成金も必要ではありますが、それに頼りきりではなく、稼げる町を作りませんか？  
津和野には歴史と文化と自然があります。津和野町にはそれができます！

それができるよう全力で働きます。



横山もとし

## 「ひと・地域を結び活力あるまちへ」

### 01 農林業と産業の振興に努めます

- ・中小規模農家、事業者支援の拡充
- ・町内特産物の高付加価値化
- ・有害鳥獣被害から「防ぐ・守る・減らす」の対策の強化を目指します
- ・農福連携の推進を図ります
- ・商工業の振興と雇用創出による人口流出の抑制

### 02 安心して暮らせる地域づくり

- ・安心・安全・健康・つながりが確保できる地域づくりに取り組みます

### 03 すべての世代が暮らしやすいまちへ

- ・暮らしを支える医療・介護・福祉の充実
- ・移動手段の確保（買い物、通院、夜間等）
- ・若者の住宅支援を含む定住対策の充実
- ・子育てや教育の充実

生	1976年（昭和51年）6月10日生（49歳）津和野町池村在住
職	日原中学校、益田東高校卒業 株式会社フロンティア日原（会社役員）
職	○津和野町農政会副会長（現）○津和野町消防団員（現）○少年指導委員（現）○津和野町特定地域づくり事業協同組合監事（現）
文	○津和野町社会教育委員（元）○日原小学校PTA会長（元）

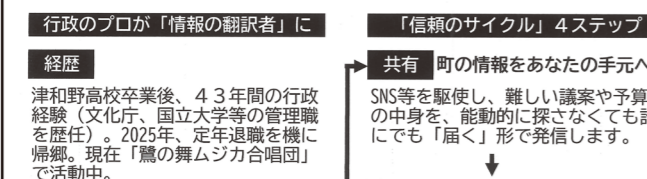


なかしま 中島 修

## 文化庁での行政経験を津和野のために！

「透明性」と「納得感」のある町政を実現する「即戦力」

- ◆私は、「言ったさきり、聴いたさきり」にはしません。
- ◆情報を発信し、声を聴き、実行し、そして必ず報告する。
- ◆当たり前のことを徹底する、開かれた町政を実現します。



私の強み

私は、文化庁などでの行政経験を活かし、『情報の翻訳者』として「議会は何をしているかわからない」という不安を解消するため、難しい議案や予算や仕組みなどを分かりやすく翻訳してお伝えし、皆様の声を論理的な「政策提言」へと形を変えて議会へ届けられる『即戦力』です。

あなたの『対話』の第一歩として、スマホのカメラを交わして私の津和野への想いを聞いてみてください。

https://note.com/cheeki\_hare3271



なかしま 中島 修

「人」への投資	削減	議員定数の削減	経済の発展	文化の伝承
---------	----	---------	-------	-------

ビジョン 住む人も訪れる人も魅力あふれる津和野町

戦略 準備 集客 組織作り 仕組み

若者定住を促進しつつ今後さらに過疎化が進行したとしても現状以上の行政サービスを受容出来る過疎地成功システム/大きく強いものがあるのではなく、小さくとも適応出来る戦略的仕組みづくりと準備に 誠をもって取り組みます。

1963年 北九州市出身（62才） 津和野町後田在住 会社役員



森本修久 のぶひさ

村上市とみは

こどもたちの未来のために

大切にする 3 つ

POINT 01 伝わる情報で、まちを元気に！

住民と行政をつなぐ、「伝わる発信」の仕組みをつくります。



村上市とみ 村上市とみ

POINT 02 育て、増やす、つわの愛！

津和野の地域資源に五感で触れる機会を大切にします。

POINT 03 未来にまっすぐ、正々堂々！

正々堂々と、中立に、未来基準で判断します。

村上市とみ

1973年津和野町（旧日原町）生まれ 津和野町役場へ入庁 2018年に bluebearの薪ストーブ屋さんを設立

Youtube Instagram

長年培ってきた議員経験をもとに、以下を推進いたします

- 共に津和野町の未来を拓こう
- 農林業
- 地域計画の推進 ●農地集約と新たな農事組合法人の設立支援
  - 農業関連移住者受入れの継続推進 ●新規就農者等の育成支援
  - 「町特定地域づくり事業協同組合」の体制強化による派遣事業の充実
  - スマート農業の推進 ●中規模農家向け農業機械更新事業の拡充
  - 森林環境譲与税などの財源を活用し、自伐型林業実践者の自立と定着を図り、事業者への労働力確保の支援
- 商工・観光
- 色支事業活用した空き店舗活用制度を通じた商工業支援
  - 鉄石空港利用促進や山陰高速度の延伸による観光客誘引のための受入体制整備
- 文化
- 乙女峠マリア聖堂の殉教者列福運動の継続推進
  - 津和野町コミュニティセンター1改修に合わせ、「文化ホール」等多目的に使用できる施設整備に交換を要望
- 教育
- 一般財団法人「つわの学びみらい」への支援
  - 津和野高校支援 ●小中学校体育館の空調とLED化を要望
- 医療・介護
- 看護師や介護士等の処遇改善と人材確保 ●「医療近接型住宅」の利用密着
- 公共インフラ
- 住民の方から要望が多い、町道等の改修(舗装等)予算拡充を要望
  - 水道未普及地域解消に向けた取組みの推進
- 空き家・空き店舗対策
- 老朽危険空き家除却のための補助金の継続と増額を要望
  - 職工会と連携した空き店舗の活用について、組閣づくりと人材の配置による取組みの推進



みたらいつよし 御手洗 剛

## 小山たかしの想い 集落から集楽へ

- いつまでも住み続けられるまちづくり（持続可能な津和野町）
- 高齢者・障がい者が安心して暮らせるまちづくり
    - ・高齢者の居場所づくりの確保と充実
    - ・介護予防、認知症予防
    - ・介護、医療の連携と充実
    - ・買い物支援サービスの充実
    - ・交通機関の支援サービスの充実
  - 豊かな自然を守る
    - ・清流高津川の維持
    - ・農林業の維持
    - ・農耕地の維持
    - ・地籍調査の推進
  - 子供たちを安心して育てられるまちづくり
    - ・子育て支援の充実
    - ・障がい児、発達障がい児への支援の充実
    - ・教育環境の整備
    - ・若者の定住支援の充実



小山たかし

## これからの津和野をみなさんと一緒に

私は3年半前、日原に移住しました。高津川の美しさ、人のつながりに惹かれたからです。都市での暮らしを経験してきたからこそ、津和野の良さや課題の両方を感じています。これからも安心して暮らせる町にするために、大切にしたいことがあります。

- 【大切にしたいこと】
- ・対立ではなく、対話を大切にします
  - ・地域のつながりを守ります
  - ・次の世代につなげます
- 【取り組むこと】
- ・議会の前後に、話し合いの場をつくります（年8回）
  - ・情報の見分け方・受け取り方を学ぶ場を広げます
  - ・高津川を守ります

一人ひとりの声を大切にしています。津和野の未来につなげていきます。みなさんと一緒に暮らせる津和野をつくりたいです。



みやたけ よしじ 宮武洋史 44歳

## 安心して住み続けられる町へ あなたの声を力にとりくみます

- ◎水道料金の基本料金の減免
  - ◎国保税、介護保険料の負担軽減
  - ◎ケア労働者の賃金引き上げ
  - ◎学校給食費の無償化
  - ◎救急を含む医療体制の確保
  - ◎使いやすい交通手段の充実
  - ◎商工業・農林漁業への支援で、生業を支える
- ◎観光立国の理念「住んでよし、訪れてよし」が尊重される観光政策を



まさ子 寺戸 日本共産党

お困りごと、何でもご相談ください

略歴 1962年岡山市生まれ。島根大学教育学部卒業後、結婚し津和野町へ。町議3期。

【事務所（自宅） 津和野町富田イ267-2 電話 75-0455】

戦争反対 平和の願いは日本共産党へ

津和野町選挙管理委員会

# 津和野町議会公議員一般選挙ハム報

令和8年4月19日執行

# 期日前投票

## 4月18日まで

【時間】午前8時30分～午後8時

【場所】役場本庁舎

津和野町民センター

# 投票日

# 4月19日

「これまで」を活かし 「これから」を生きる

- ① 交付金などを活用したインフラの維持・整備を推進し、必要な公共サービスの維持・発展に努めます
- ② 事業の継続・承継、観光の振興、農林水産業の活性化など、地域の魅力を高める取り組みを推進します
- ③ 学校環境の整備や、未来を担う子どもたちを育成する取組を推進します
- ④ 遊び場の整備など、安心して出産・子育てができる環境の整備を推進し、若者が暮らしやすい定住対策の推進、空き家・空き店舗等改修事業を推進します



【プロフィール】1982年3月20日生/津和野小・中・高、亜細亜大学経営学部経営学科卒業/2010年に28歳で初当選、現在4期目/家族：妻、3児/枕瀬・木ノ口在住/副議長/地務経済常任委員会委員、広報広報常任委員会委員/議会活性化特別委員会、議員定数及び報酬等調査特別委員会、津和野町学校給食センター建設事業に関する調査等特別委員会、なごみの里省エネ化及び再エネ化等調査特別委員会及び予算・決算審査特別委員会の各委員長を務めた



かわだ  
川田つよし  
無所属 44歳

<津和野町をもっと元気に>

当町は国際ユネスコ無形文化財「鷲舞神事」、国指定重要文化財「流鏑馬神事」歴史的遺産である「乙女峠マリア聖堂の殉教者列福運動」など、素晴らしい観光資源に恵まれています。しかし今は「少子高齢化、人口減少」とともに、残念なことに消滅自治体のレッテルを貼られてしまいました。この厳しい現状の中、将来希望溢れる町づくりを目指し、私は議会にて<当町の商工観光経済の活性化>、<様々な町民生活の豊かさの追求>、<住民生活に欠かせない医療介護福祉の更なる充実>等、町民生活に直結する様々な課題に対して、適宜提言していきます。また今年度以降の計画になる最優先課題としての「文化センターの役割を持つ多目的ホールへのコミセン改修」に関して「図書館の新設」を含む文化活動の拠点として、<その機能、目的、経済相乗効果>などについて、定例会一般質問などで、その都度提言していきます。



てい 泰仁



よねざわ  
米沢 ひろ文

津和野町も少子高齢化社会など課題山積ですが観光振興に力を尽くしたい。  
本年、津和野町はテレビアサヒ番組の「日本小京都ベスト10」で2位になりました。1位角館(秋田) 2位津和野(島根) 3位尾道(広島)津和野の画面に「日本五大稲荷の太鼓谷稲成神社」「殿町の鯉」「鷲原八幡宮流鏑馬神事」など放映された。ほかに「なまこ餅」「キリスト教会は置張り」「S」山口号の設備」などの映像も。観光資源や伝統文化が豊かにある証です。観光振興に力を尽くしたい。観光振興に力を尽くしたい。観光振興に力を尽くしたい。

「津和野で育ってよかった」と思えるような町を目指します

- ・Uターン、Iターン者の定住促進
- ・出生数の増加のために出産に対する支援の拡充
- ・出産後の子育て支援から就学後の教育の充実
- ・子供たちが安心して使える遊びの場の整備

高齢者もいきいきと暮らせる町づくりに取り組みます

- ・町バス、買い物支援などを維持しつつ高齢者が地域社会で孤立しない仕組みづくりを進めていきます
- ・若い世代との交流を深め、経験・知識・技術の継承そして、それを活かせる環境づくりに取り組みます

議員定数の見直しを提言します

さいとうゆうさくプロフィール  
1990年(平成2年)津和野町生まれ  
畑道小学校、津和野中学校、益田翔陽高校、大分短期大学(園芸科)卒業。  
Uターンし、祖父の跡を継ぎ就農。水稲、餅、果樹を中心に栽培。  
ふるさと畑道理事、津和野町消防団第四分団団長、畑道体育連盟副会長、JA西いわみ運営委員、JA西いわみ青年連盟会長を二期・現副会長。  
趣味でメダカの繁殖をしており、現日本メダカ協会山陰支部支部長



さいとう  
さいとうゆうさく  
35歳

1期目の経験を通じて大切だと実感したのは「提案力」  
具体的な提案を持って課題解決に向き合う議員を目指します。

- 発想** あなたのアイデアを活かす
  - 対話** 真の課題を見つけたす!!
  - 知識** 学んだ姿勢と適切なリサーチで根拠のある提案!!
- 多様な関係者との対話から真の課題を見つけたす!!

【大江梨】  
京都市出身。島根県立大学4期生。卒業後は約10年間京都・名古屋で勤務。青年海外協力隊や地域おこし協力隊を経て、結婚を機に2020年津和野町へ移住。旧畑道病院内「糧」運営。



おおえ  
大江 梨

地域の現場から町政へ  
「小さな声にも、光を」

新しい風で活気ある町づくりを!!  
子どもたちに残せる町づくり!!

自治会・消防団・公民館・社会教育委員として  
地域で動いた経験を町政へ

高齢化や人口減少が進む中でも、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられること、そして、次の世代へつなげていくことが大切だと考えています。



ながみ  
ながみ さとし  
(61歳)

あたしゃわき役 みな主役  
知らぬ存ぜぬは ご飛度です  
まずは知ることに学ぶこと  
思いか出てくしゃ 対話です  
対話なくして 明日はなし  
諸ソコへせが 夢かなん!



たなか  
田中 海太郎

さあ! 動きだそう  
道信俊昭が主張

- 全世帯の年間基本料金の合計は約4800万円。基本料金の全額補助はできる。
- 高齢化で徐々に商店が閉まっている。救いの策を出そう。
- 免許返納は買物も生存にも関わる。二者できき細やかな交通体系を作る。行政・地区長・業者
- 眼科医の要望が多く寄せられている。共存病院に眼科医の派遣を要望する。



道信としあき

- 1 議会の在り方を見直す  
特定の地区の声を届けるためではなく、全町の未来に責任を持ち、自ら動き出す。
- 2 教育に本気で取り組む  
大人も子どもも失敗を恐れず挑戦し、未来を描き出すひとが育つ町へ。
- 3 町の価値を高める  
本気で挑戦し続ける町は強い。  
"目指せ、ローカル最強。"

切り込む

プロフィール  
孫ターンして15年。高2の双子の母。  
NPO法人ミライタネとLady go ~Tsuwano~を立ち上げ、新しいカタチのまちづくりを続ける。

街頭演説スケジュール  
4/16(木)12:30~役場本庁舎前 4/18(土)9:30~まごころ市場にちはら前  
4/17(金)12:30~役場津和野庁舎前 4/18(土)12:30~キヌヤ津和野店前  
※時間は前後する可能性があります。

●18~20時ごろ、以下の各地区へ街頭演説に伺います。  
4/15(水)青原・枕瀬  
4/16(木)後田・森・寺田  
4/17(金)中屋・鷲原・畑道  
4/18(土)池河・日原

その他、各地区で演説予定!  
詳細はこちら



やがみ  
矢上 あつこ